

Plone の説明 , 今後の Web 管理

2009 年 5 月 9 日
名古屋高等学校 中西渉

1 Plone とは

Plone は Zope 上で動作する CMS(Content Management System) である。

導入実績はそれなりにあるようなのだが、筆者は全然把握していない。というのは、たとえば Plone の日本サイト <http://plone.jp> はほとんどデザインを変更していないから Plone を使っているとすぐにわかるのだが、本家サイト <http://plone.org> のように手を加えてあるものはどのようなシステムを使っているかわからないからだ。

2 Plone の体験

2.1 準備

パソコンの準備 持参したノートパソコンを、ネットワーク設定を自動的に取得するようにして接続してください。もし複数の Web ブラウザがインストールしてあれば (Internet Explorer と Firefox とか)、両方を起動しておく (片方はログインして作業するため、もう片方はログインしていない一般の人からどう見えるかを確認するため)。なお、ブラウザはクッキーを許可する設定にしないといけない。

アカウントの有効化 Web ブラウザを用いて <http://www.example.net> にアクセスし、リンクをたどってウェブメールにログインしてください^(*1)。ユーザ名は今日登録したもの、パスワードは hoge hoge になっている。INBOX に「アカウントを有効にするには...にアクセスしてください」というような内容のメールがあるので、そのアドレスをクリックするとアカウントが有効になり、設定ページに誘導される。そこで氏名とパスワードを登録することから始めよう。

^(*1) このサーバは今日限りのものとして用意した。

2.2 今日の作業場所

今日の作業場所として「例会」というフォルダを (今から) 作る。そのタブをクリックして中に入ってください。作業をする際には、自分が今どこにいるかを左上の「パンくずリスト」で確認してほしい。

2.3 データを置く

ページを作る前に、画像などのデータを置くフォルダ「data」を「例会」の中に (今から) 作る。このフォルダの中に入って、「新規項目を追加」から適切なものを選んでデータを保存してみてください。なお、画像を「ファイル」で追加してしまうと画像として閲覧できないので注意。

2.4 記事を書く

ではいよいよページを作る。「例会」のフォルダに戻って、「新規項目を追加」で「ページ」を選択し、いろんなことを書いて試してみてください。

ショートネーム これはアドレスの末尾、フォルダ名に続く部分になる。他の人とダブらなそうなものをつける。

タイトル 適当につけてかまわない。

説明 要約を記入する。コンテンツの一覧や、RSS で表示される。

本文 上部のボタン (マウスを乗せると説明が表示される) を使ってワープロ感覚でいろいろ書いたり、リンクを貼ったり、画像を挿入したりする^(*2)。他の Web ページや、Excel の表などもコピペできる。

2.5 記事が公開されるまで

さて、記事を書いたのでこれが Web で見られる...かと思えば、実はまだ見られない (我々が見られるのは、ログインして作業しているから)。記事を公開するにはまだ手続きが必要なのである。

^(*2) 実はこのときに画像をアップロードすることもできる。

Plone では次の 3 つのロールが準備されており、役割を分担できる（兼任することは可能）。

寄稿者 記事を投稿できる

編集者 新規に記事を投稿することはできないが、編集はできる

審査員 公開の許可を出したり、却下したりすることができる

記事が公開されるまでの流れは次のようになる。

1. 寄稿者が記事を書いたり、編集者が加筆したりする
2. 公開するために提出する
3. 審査員が、提出されたものについて公開の許可を出したり、却下したり、差し戻したりする

学校などの組織ではロールをきちんと分割することになるのだが、今日は各ユーザに全ロールの権限を与えてあるので、自分が作ったページを自分の手で公開していただきたい^(*3)。

2.6 ナビゲーション

ところで、ブラウザ画面の左側に「ナビゲーション」があり、フォルダ内のコンテンツが一覧できることには気づいていると思う。これが自動的になされるのは CMS のいいところなのだが、データを置いたフォルダ data はここに表示するのはふさわしくない。このような場合は「編集」「その他」でナビゲーションに表示しないように設定することができる。

2.7 ニュース・イベント

Plone では普通の記事以外に、ニュースやイベントの告知のための機能がある。これは自動的にナビゲーションに追加されるし、期間がすぎたら自動的に削除できるようにも設定できるので便利だ。

(*3) 審査員を兼ねていると、提出をすっ飛ばしていきなり公開できてしまうので、かえってわかりにくいかもしれない。

3 Web 管理について

3.1 FTP では無理

私見ではあるが、複数人が FTP で Web 管理するのは、(よほど小規模のサイトでない限り) 不可能である。各人は管理しているつもりでも、全体としては管理されない状態になりがちなのだ。たとえば本研究会の旧 Web コンテンツのディレクトリ構成を収めたテキストを「資料」のフォルダに置いたので見てほしい。この 500 近いディレクトリの全容を把握できていた人がいたとは到底思えない。

せめて CVS や SubVersion などのバージョン管理システムを使っていれば、もう少しくらいはマシンなのだが。

3.2 Plone の利点

無料で利用できる CMS はたくさんある。その中で Plone を選択したのは、次のような利点があると考えられるからである。

WYSIWYG 前に使っていた XOOPS は HTML

で入力しなくてはいけないので不便であった。もっとも、この条件を満たさない CMS はむしろ珍しいと言えるかもしれない。

フォルダでのコンテンツ管理 たとえば Joomla! ではセクション・カテゴリの 2 階層で記事を整理することができるが、これよりもフォルダで分類できた方が融通がきくし、ツリー構造が一目でわかる。

ショートネーム これによってアドレスがすっきりしたものになる。CMS によっては各ページのアドレスが長い URL や番号で示されてしまうものがあり、何かと不便である。

CSS によるデザイン統一 印刷の際にも印刷用の CSS が適用されるので、紙面に無駄がない。

RSS などの自動生成 What's new のページやサイトマップ、RSS を自動生成できる。研究会のページというのは毎日見にくる性質のものではないので、新着情報は RSS で配信するのが良いと考えている。

審査員を置ける これは学校等では必須機能である

う。本研究会ではそれほど役割を分割する必要はないだろうが、一般公開前に内輪（WG）への公開というワンクッションを置くことができるのは便利だ。

システム管理が簡単 Debian のパッケージ管理にすべておまかせでインストールもバージョンアップもできる。管理の手順がややこしいものだと、引き継ぎのできないブラックボックスができてしまうものだ。たとえば筆者は以前「しまねけん CMS」^{(*)4}が職場で使えないかと考えたことがあったのだが、インストールやその後の保守が面倒なので試用をあきらめてしまった。

3.3 今後の方針

3.3.1 考え方の転換

Web ページから Web サイトへ HTML で記述したページを FTP で集めるボトムアップ的な従来のやり方では、単なる Web ページの集合体になってしまいやすい。それではサイト全体が持つ情報を把握することは難しい。もちろん方針をきちんと決める人がリーダーシップをとって、みんながそれに従えば済む話ではあるが、実際にそれで運用するのは言うほど簡単なことではない。

それよりも、Web サイトという全体的な枠を置いて、各部分を作っていくというようにした方が全体構成を守りやすいし、orphan なコンテンツが発生する心配も少ない。

サーバ管理者とコンテンツ管理者の切り分け 両者はまったく違う役割であるし、同じ人が担当していることはむしろ弊害を生む。システムの深部をコンテンツ作者が知る必要はないが、「何ができるか」については知らなくてはいけない。兼任するとこの境目がはっきりしなくなってしまうのだ。

3.3.2 システム的な話

Plone はベースになっている Zope が重いこともあって動作がもっさりしているが、Squid との組み

合わせで改善されるという話もよくみかける。これについては時期を見て試してみたい^{(*)5}。

3.3.3 提案

今後の本研究会 Web の運営について、筆者は次の提案をする。意見をいただきたい。

- 新規コンテンツはすべて Plone 上に置く。
- 旧コンテンツはそのまま残すが、更新はしない。折を見て極力 Plone 上に移転する。
- WG のメンバは Plone のアカウントを持ち、直接記事を書く。そのまま審査員を兼ねても構わないし、公開前に WG に意見を求めても構わない。
- 例会が終わったらすぐに（公開許可をもらった）資料を Plone 上で公開する。
- 全体の構成・サイトマップなどについては今後 WG で決定する。

4 最後に...お願い

誰か得意な人が全体デザイン（美的な意味での）を考えてほしいと切に願う。筆者にそういった方面を期待しても無駄なことは周知の通りであるからだ^{(*)6}。もちろんアイデアを出してもらえれば、それを実現するための作業をすることはやぶさかでない。

^{(*)4} <http://projects.netlab.jp/PrefShimaneCMS/>
Ruby on Rails で作られた行政機関向けの CMS。テキスト読み上げなど豊富な機能を持つ。

^{(*)5} 旧コンテンツとの同居を考えなければ単純な話になりそうなのだが、仕方ない。

^{(*)6} 本人が一番よくわかっているんだってば...orz